

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 四国財務局長

【提出日】 2020年3月13日

【四半期会計期間】 第89期第1四半期(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

【会社名】 株式会社ミロク

【英訳名】 Miroku Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 弥 勒 美 彦

【本店の所在の場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【最寄りの連絡場所】 高知県南国市篠原537番地1

【電話番号】 088(863)3310(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部本部長 古 味 俊 雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第1四半期 連結累計期間	第89期 第1四半期 連結累計期間	第88期
会計期間	自 2018年11月1日 至 2019年1月31日	自 2019年11月1日 至 2020年1月31日	自 2018年11月1日 至 2019年10月31日
売上高 (千円)	3,925,241	3,470,589	15,368,111
経常利益 (千円)	474,596	245,075	1,269,572
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	371,973	111,872	938,895
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	353,190	106,097	975,401
純資産額 (千円)	12,882,200	13,544,897	13,514,027
総資産額 (千円)	16,376,883	16,775,063	17,355,802
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	128.04	37.91	322.41
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	78.7	80.7	77.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続いております。一方海外情勢においては、米中の貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題等の影響により、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

#### 財政状態

##### (資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて580,739千円減少し、16,775,063千円となりました。

主な要因は、たな卸資産が90,294千円増加したものの、現金及び預金が563,486千円、受取手形及び売掛金が254,489千円減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて611,609千円減少し、3,230,165千円となりました。

主な要因は、短期借入金100,000千円、未払法人税等が113,671千円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて30,869千円増加し、13,544,897千円となりました。

主な要因は、主に利益剰余金が36,814千円増加したこと等によるものであります。

#### 経営成績

当第1四半期連結累計期間の売上高は3,470,589千円(前年同期比11.6%減)、経常利益は245,075千円(前年同期比48.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は111,872千円(前年同期比69.9%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

##### a 猟銃事業

主力製品である上下二連銃の販売数量は前年同期と比べ減少したものの、ボルトアクションライフルの販売数量が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましては、付加価値の高い上下二連銃が減少したことや、生産能力増強及び新製品開発のための費用増等により前年同期を下回りました。その結果、売上高は1,971,339千円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益(営業利益)は180,727千円(前年同期比23.0%減)となりました。

##### b 工作機械事業

主力三部門の売上高及び販売数量は前年同期と比べ低調に推移しました。機械部門は、一定の受注を確保しているものの、販売台数は高水準であった前年同期と比べ減少し高価格製品の販売も伸びなかったことから、売上高と利益を押し下げました。また加工部門及びツール部門も、顧客の生産減少の影響を受けました。その結果、売上高は582,443千円(前年同期比36.6%減)、セグメント利益(営業利益)は89,554千円(前年同期比66.9%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高52,081千円を含んでおります。

c 自動車関連事業

3Dドライ転写ステアリングハンドルの販売数量は前年同期を上回りましたが、木製ステアリングハンドルや全周革ステアリングハンドルの販売数量が減少したため、売上高及び利益ともに前年同期を下回りました。その結果、売上高は967,502千円(前年同期比11.4%減)、セグメント利益(営業利益)は276千円(前年同期比67.0%減)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3,909千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年1月31日)	提出日現在 発行数(株) (2020年3月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,005,441	3,005,441	東京証券取引所 (市場第2部)	単元株式数は100株 であります。
計	3,005,441	3,005,441		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年11月1日～ 2020年1月31日		3,005,441		863,126		515,444

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年10月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,100		単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,987,400	29,874	単元株式数 100株
単元未満株式	普通株式 14,941		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,005,441		
総株主の議決権		29,874	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式21株が含まれております。

【自己株式等】

2020年1月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株)ミロク	高知県南国市篠原537-1	3,100		3,100	0.10
計		3,100		3,100	0.10

(注) 当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(自己株式等)」欄の普通株式に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年11月1日から2020年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,851,110	2,287,624
受取手形及び売掛金	2,064,657	1,810,167
たな卸資産	3,939,079	4,029,374
その他	267,451	374,846
貸倒引当金	173	152
流動資産合計	9,122,124	8,501,859
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,866	1,447,024
機械装置及び運搬具(純額)	1,505,482	1,584,671
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	139,671	176,092
有形固定資産合計	4,790,017	4,895,783
無形固定資産	63,366	81,726
投資その他の資産		
投資有価証券	2,767,381	2,678,752
その他	625,892	630,021
貸倒引当金	12,980	13,081
投資その他の資産合計	3,380,293	3,295,693
固定資産合計	8,233,677	8,273,203
資産合計	17,355,802	16,775,063



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,083,962	1,030,356
短期借入金	100,000	
未払法人税等	186,097	72,425
賞与引当金	156,798	190,289
役員賞与引当金	39,292	8,406
その他	818,196	513,903
流動負債合計	2,384,346	1,815,382
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
役員退職慰労引当金	166,311	171,090
退職給付に係る負債	637,288	607,531
その他	253,827	236,161
固定負債合計	1,457,428	1,414,783
負債合計	3,841,774	3,230,165
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	11,617,351	11,654,166
自己株式	30,264	30,434
株主資本合計	13,003,992	13,040,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480,595	474,543
為替換算調整勘定	29,438	29,716
その他の包括利益累計額合計	510,034	504,260
純資産合計	13,514,027	13,544,897
負債純資産合計	17,355,802	16,775,063

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	3,925,241	3,470,589
売上原価	3,187,334	2,970,162
売上総利益	737,906	500,427
販売費及び一般管理費	295,050	297,851
営業利益	442,856	202,575
営業外収益		
受取配当金	12,262	12,884
持分法による投資利益	1,187	16,941
スクラップ売却益	7,305	2,179
その他	12,143	10,936
営業外収益合計	32,899	42,942
営業外費用		
支払利息	782	124
その他	377	317
営業外費用合計	1,159	442
経常利益	474,596	245,075
特別利益		
受取保険金	95,732	363
特別利益合計	95,732	363
特別損失		
固定資産除却損	1,640	65
投資有価証券評価損		79,352
特別損失合計	1,640	79,418
税金等調整前四半期純利益	568,687	166,020
法人税等	196,714	54,147
四半期純利益	371,973	111,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,973	111,872

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	371,973	111,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,259	7,923
為替換算調整勘定	3,512	164
持分法適用会社に対する持分相当額	19,529	1,984
その他の包括利益合計	18,782	5,774
四半期包括利益	353,190	106,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,190	106,097

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
減価償却費	130,387 千円	145,731 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年12月7日 取締役会	普通株式	73,913	25.00	2018年10月31日	2019年1月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年12月6日 取締役会	普通株式	75,058	25.00	2019年10月31日	2020年1月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,916,257	915,369	1,091,441	3,923,069	2,172	3,925,241		3,925,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,868		2,868		2,868	2,868	
計	1,916,257	918,237	1,091,441	3,925,937	2,172	3,928,109	2,868	3,925,241
セグメント利益	234,843	270,616	836	506,296	612	506,909	64,052	442,856

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額 64,052千円には、セグメント間取引消去1,152千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 65,205千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,971,339	530,362	967,502	3,469,203	1,386	3,470,589		3,470,589
セグメント間の内部 売上高又は振替高		52,081		52,081		52,081	52,081	
計	1,971,339	582,443	967,502	3,521,284	1,386	3,522,670	52,081	3,470,589
セグメント利益	180,727	89,554	276	270,558	461	271,019	68,443	202,575

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額 68,443千円には、セグメント間取引消去 7,454千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 60,989千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額	128円04銭	37円91銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	371,973	111,872
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	371,973	111,872
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,905	2,950

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2019年12月6日開催の取締役会において、2019年10月31日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	75,058千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年1月29日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年3月11日

株式会社ミロク  
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 久保 誉 一

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安田 秀 樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミロクの2019年11月1日から2020年10月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年11月1日から2020年1月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年11月1日から2020年1月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミロク及び連結子会社の2020年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。